

静岡県日本一巡り 観光ルート

中部編

皆さんは「静岡県の日本一」と聞かれたら、何を思い浮かべますか？

富士山、お茶、ピアノ…など様々なものがあると思いますが、有名なものからマイナーなものまで静岡県には多くの日本一があります。

今回は、第5回目のコラム「静岡県日本一巡り観光ルート 伊豆編」に続いて、中部地域の日本一を皆さまに御紹介したいと思います。それでは…出発！

清水灯台 (通称: 三保灯台)

(静岡市清水区三保)

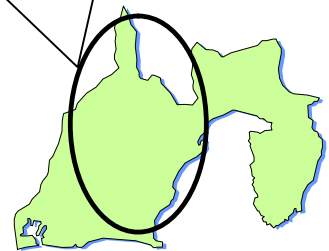
→清水区にある「清水灯台」は、日本で一番古い鉄筋コンクリート製の灯台です。

明治45年3月1日に点灯し、100年以上経った今でも毎夜、海を照らしています。

(海上保安庁HP参照)



今回は中部編ということで静岡市～牧之原市あたりを中心に御紹介します！



車で
約10分

車で
約50分



三保の松原

(静岡市清水区三保)

→清水区三保半島にある松林が美しい景勝地。

世界文化遺産「富士山 - 信仰の対象と芸術の源泉」の構成資産の一つとして登録されています。

天女と地元の漁師との交流を描いた「羽衣伝説」の地でもあります。



焼津でかつおを堪能(昼食)



→平成 28 年における全国のかつおの漁獲量は 208,300 トン。そのうち静岡県は 63,400 トンを占めており、日本一のかつおの漁獲量を誇っています。

また、県内でも焼津港は「かつお(冷凍)」の上場水揚げ量 日本一の漁港として知られています。

車で
約 30 分



ほうらいばし 蓬莱橋

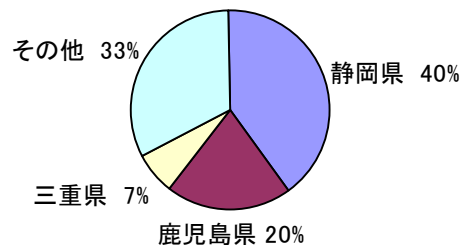
(島田市南町地先)

→明治 12 年に大井川に架けられた橋で、長さは 897.4 メートルあります。

平成9年 12 月 30 日付けで「木造歩道橋として 世界一の長さ」ということでギネス認定されました。

車で
約 15 分

全国の茶栽培面積の割合(平成29年)



出典:「平成 29 年果樹及び茶栽培面積(7月 15 日現在)」
農林水産省

牧之原の茶畑

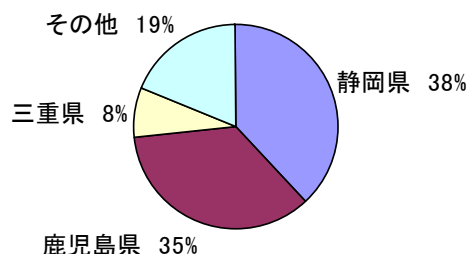


→静岡県は、全国のお茶の栽培面積や収穫量の 約 40%を占める日本一の茶どころです。

県内には牧之原をはじめ、20 を超えるお茶の産地があります。

壮大な茶畑を眺め、旅の疲れをリフレッシュ。

全国の茶(生茶)収穫量の割合(平成29年)



出典:「平成 29 年産茶の摘採面積、生葉収穫量及び 荒茶生産量(主産県)」(農林水産省)

以上、中部地域の日本一を巡ってみました。

今回は紹介しきれませんでした。静岡県にはまだまだ日本一のものがたくさんあります。もうすぐゴールデンウィーク。これに興味を持ったら、統計データをもとに静岡県の日本一を巡ってみるのはいかがでしょうか？